

# 立川市民オペラ公演 2020-2021

## 歌劇「トウランドット」ハイライト & ガラコンサート

公演日 2021年3月20日(土・祝)3月21日(日)

立川市民  
オペラ通信

第12号

2021年5月発行  
立川市民オペラの会  
〒190-0022  
立川市錦町3-3-20  
たましんRISURUホール  
(公財)立川市地域  
文化振興財団 内  
TEL042-526-1312  
FAX042-525-6581

立川市民オペラ公演2020-2021は数々の制約の中、無事終演する事が出来ました。  
ご来場頂きましたお客様、ご協力・ご支援いただきました全ての方々へ心より感謝申し上げます。



撮影：長澤直子

目に見えないコロナウイルスの恐怖に立ち向かいながら開催された本公演は、大変意味深い公演となりました。  
より一層強まった絆は最高の舞台となりました。ブラボー禁止の中、お客様から沢山の拍手をいただき、感動と感謝に溢れたこの公演を出演者一同、きっと忘れる事はないでしょう。

### ＜立川市民オペラ合唱団より＞

コロナ禍における「合唱」の活動、この1年間、立川市民オペラ合唱団として何ができるか悩みに悩みました。

昨年の公演が急ぎよ中止になってから、「合唱」に対する世間の厳しい目もあり活動再開に踏み切れず、いた8月、公演に向けて秋以降練習再開した場合の参加意向を団員全員に確認しました。結果は、参加が全団員の3分の1以下、1〜2名というパートもあり、このままではとてもトウランドットの合唱はできません。指導してくださっている先生方と相談し、コーラスサポート(以下CS)に入ってもらい、また演奏会形式とすることで公演の練習を進めようということになりました。

ようやく練習再開が出来たのが10月15日、10数名という人数で広い練習会場でデイスタンスを取り、マスクをして、7カ月半ぶりに発声をしました。

合唱団団長に  
一年の思いを綴って  
頂きました



大人数で練習していた今までは全く様子が違います。歌えなかつたり間違つたりした箇所があると、全く誤魔化しが利きません。加えて7カ月半のブランク、公演まで5カ月という状況で思うように歌えないこと、思うようなハーモニーにならないことに焦りが募ります。

11月からCSも加わり何とか合唱の形になってきたと思つた矢先、1月の緊急事態宣言です。2月7日までの練習の休止を決定し、練習休止期間中は暗譜稽古とし、各自の暗譜の進捗状況を確認し合う等して自主練習に取り組みました。緊急事態宣言が延長となった2月、さすがに公演実施の為にはや猶豫はなく、一方で公演続行にややネガティブな意見も耳にしたため、練習再開にあたって、CSも参加のうえで団員1人1人から今回の公演に向けた思いを発言してもらいました。

コロナに  
負けない!



撮影時のみマスクを外しています。舞台では合唱はマスク着用のまま歌唱しました。



の下、これぞ「合唱」という音楽を作ることに邁進しました。30名の熱量は今まで経験したレベルではないと感じました。  
トウランドットに取り組んだ2年間の「立川市民オペラ合唱団」の思いは、今回の公演で皆さんの心に届いたでしょうか?  
団長 岸本 滋

コロナから身を守る  
のは自分自身ですね!

### ＜立川管弦楽団より＞

昨年3月のオペラ公演が中止となり迎えた今回のガラコンサートにも様々な困難が伴いました。

新型コロナウイルス感染症は衰えることなく、緊急事態宣言の中でどのような選択が正しいのか、常に迷いながらの活動が続きました。

お陰様で関係各位の皆様のご協力によって無事に公演を終えられたことは、この上ない喜びです。

今後も立川市民オペラが継続して発展できることを願ってやみません。ご来場いただきました皆様、誠にありがとうございました。



撮影：長澤直子

壇上でのオーケストラ演奏は初めてです!

「立川市民オペラ」で検索!

【HP】 <https://tachikawaoperaassociation.jimdofree.com/>

【Facebook】 <https://www.facebook.com/tachikawacitizenopera/>

Eメール [opera@tachikawa-chikibunka.or.jp](mailto:opera@tachikawa-chikibunka.or.jp) (事務局)